



石川県 羽咋市

姉妹都市

はくい

オンライン対戦を
行う羽咋市代表選手



姉妹都市提携40周年記念

eスポーツを通じてみんなが笑顔に

8月9日、藤岡市との姉妹都市提携40周年を記念し、LAKUNAはくいでeスポーツイベント「藤岡×羽咋カップ」が開催されました。今回のイベントは、オンラインでのトーナメントを勝ち上がった両市の選手が、リアルタイムで格闘ゲームの対戦を行い、白熱した勝負を繰り広げました。eスポーツを通じた交流は初めてでしたが、会場は熱気と笑顔に包まれ、大いに盛り上がり、世代や距離を超えた交流を深める機会となりました。

40年という節目に生まれた新たなつながりを大切に、今後もさまざまな分野で交流の輪を広げながら、両市の絆をより一層深め、未来へつなげていきます。



認知症への理解を深めよう

元気長寿課 ☎2287

認知症とは、脳の変化により今までできていたことができなくなり、生活に支障を来している状態を指します。その代表的な症状に、物忘れがあります。年齢を重ねると「買ってくる物を忘れてしまった」「昨日の夕飯が思い出せない」というように記憶力が低下することがありますが、認知症の物忘れはそれと異なり、「買ってくる物にそんなものはない」とヒートがなくても思い出すことができなったり、「昨日は夕飯を食べていない」と出来事の全てを忘れてしまったりします。加えて、認知症になると理解力や判断力も低下するため、周囲からはできることがなくなってしまうように見えることがあります。しかし、周囲の支えや理解があれば、できることもたくさんあります。本人の様子をよ

く見て、できることは続けてもらい、できない部分を支援するというように、今できていることを継続することが大切です。

す。さまざまな観点から、認知機能の低下に対する早期対応が重要です。

認知症に関する相談

軽度認知障害と早期対応

日常生活に影響を及ぼすほどではないものの、軽度の物忘れや記憶力の低下などがあり、健常な状態とも言いがちな状態をMCI（軽度認知障害）といいます。MCIに気付くことにより、認知症に至る前の早期に対策を立てることが出来ます。MCIの段階で脳機能の活性化や食生活・運動習慣の改善に取り組んだことで、健常な状態に戻ったという報告もあります。また、認知症になってしまっても、早期であれば進行を遅らせる薬を使用することがあります。

元気長寿課では、「医療サービスの拒否があつて対応に困っている」「家族の集いの場に参加したい」など、認知症に関する困りごとや要望に対応したサービスや事業を紹介しています。また、認知症について正しく理解し、認知症の人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう手助けをする「認知症サポーター」の養成講座を開催しています。この講座は、認知症に関心のある人や企業・団体・学校などが対象です。相談をしたい人や講座を受講したい人は、元気長寿課まで連絡してください。

キラリ★わたしの学校

鬼石中学校

～生徒が主役の学校を目指して～

鬼石中学校は、コミュニティ・スクールを基盤とした鬼石連携型小中一貫校として、ESD(持続可能な開発のための教育)で未来をつくる小中一貫教育に取り組んでいます。本校生徒会の今年度のスローガンは「Shine with your smiles.～笑顔が輝く、全員が主役になれる鬼石中学校～」です。これには「みんなが笑顔で活躍できる(主役になれる)鬼石中にしたい!」という生徒たちの強い思いが込められています。

学年をまたいだ縦割りの団で競う校内陸上記録会では、先輩は後輩にアドバイスをしながら練習を行います。記録会当日は、自己ベストの更新を目指して全力で取り組むとともに、頑張る仲間を声が枯れるまで応援します。文化祭「桜華祭」では、学習の成果を家庭や地域に発信します。ダンス発表は、グルー



桜華祭でのダンス発表

プごとに相談しながらダンスの動きを一から考え作り上げます。本番は生き生きとした表情で踊る生徒と、それを周りで盛り上げる生徒とが一体となった、感動のステージとなります。鬼石中学校は、今後も生徒が主役の学校を目指していきます。

問い合わせ 学校教育課 ☎508212
鬼石中学校 ☎52750

ごみを減らす・分ける・生かす

— 安心して生活できる環境を次世代へ —

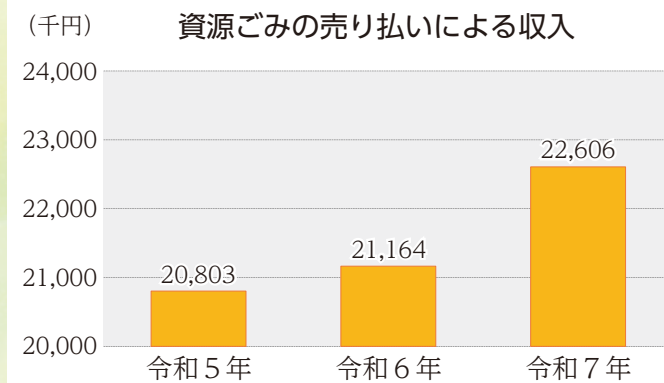
第6回 ごみの処理と費用の話

ごみ処理にかかる費用はごみ処理費といい、市では令和7年度に約9億5,000万円を支出しています。反対に、事業ごみの処理手数料や資源ごみの売り払いによる収入は、約1億3,000万円ありました。この差額の8億2,000万円は、市民の皆さんの税金で賄われています。

資源となる物をしっかり分別しリサイクルすると、市の貴重な収入源になります。また、ごみを減らして(Reduce)ごみ処理費を削減することや、資源を再利用(Reuse)・再生利用(Recycle)して収入を増やすことは、将来に向けて持続可能なごみ処理を実現することにつながります。

市では、市民の皆さんの協力により、リサイクル率18.4%(県内12市中2位)を達成しています。また、資源ごみの売り払いによる収入も毎年増加傾向にあります。

日頃から分別に協力いただきありがとうございます。



〈知ってもらいたい「ごみ」のこと〉

近頃「中東情勢の影響でごみ袋がなくなるのではないかな」という心配の声が寄せられますが、市の指定ごみ袋は十分に在庫があります。過度な買いだめは販売店の在庫不足を招きます。必要な分のみの購入をお願いします。

問い合わせ 清掃センター ☎38305